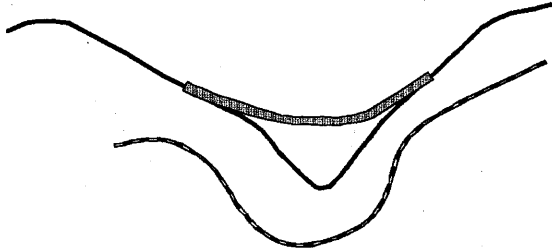
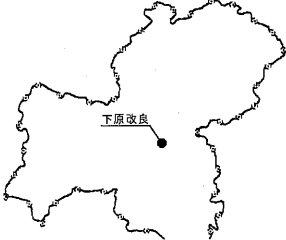


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道41号 <small>しもはらいりょう</small> 下原改良	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 中部地方整備局								
起終点 自：岐阜県 <small>ました かなやま しもはら</small> 益田郡金山町下原 至：岐阜県 <small>ました かなやま なかざり</small> 益田郡金山町中切		延長 1.1 km								
事業概要 一般国道41号下原改良は、岐阜県益田郡金山町における防災危険箇所の解消、交通安全を確保するための線形改良等を目的とした延長約1.1kmの2車線道路である。										
H 3 年度事業化	H - 年度都市計画決定 (H - 年度変更)	H 13 年度用地着手 H - 年度工事着手								
全体事業費	約 30 億円	事業進捗率 18 % 供用済延長 -km								
計画交通量	11,900 台/日									
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1. 8 (残事業) 2. 1	総費用 (残事業)/(事業全体) 31 / 35 億円 (事業費：26/30億円 維持管理費：5/5億円)								
総便益 (残事業)/(事業全体) 64 / 64 億円 (走行時間短縮便益：57/57億円 走行費用減少便益：5/5億円 交通事故減少便益：2/2億円)		基準年 平成 15 年								
事業の効果等 ・安全な生活環境の確保（金山町地内における通過交通と生活交通の分離がなされる） ・災害への備え（防災点検箇所が回避される） 他6項目に該当										
関係する地方公共団体等の意見 下原トンネルは、災害危険箇所、交通事故多発箇所の早期改良等が期待されており、国道41号美濃加茂下呂間車線強化促進期成同盟会を中心に、近年ますます要望が活性化している。										
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 現道交通量は年々増加し、混雑度及び大型車混入率とも増加傾向にある。										
事業の進捗状況、残事業の内容等 事業進捗率は18%（H11：3%）であり、鋭意用地買収推進中である。										
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成20年代前半に事業延長L=1.1 kmの完成2車線を供用予定である。										
施設の構造や工法の変更等 地権者の同意を得ながら、民地側を擁壁から盛土（トンネル残土）へ構造変更予定である。										
対応方針 事業継続										
対応方針決定の理由 以上の状況を勘定すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。										
事業概要図 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>凡</th> <th>例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—————</td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td>■■■■■</td> <td>事業中</td> </tr> <tr> <td>///////</td> <td>再評価箇所</td> </tr> </tbody> </table>			凡	例	—————	供用中	■■■■■	事業中	///////	再評価箇所
凡	例									
—————	供用中									
■■■■■	事業中									
///////	再評価箇所									

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものを。